

**製品名: ErbB 2 (1C4) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM03574**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 138 kDa; Observed MW: 180 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ERBB2 ERBB2; HER2; MLN19; NEU; NGL; Receptor tyrosine-protein kinase erbB-2; Metastatic lymph
別名	node gene 19 protein; MLN 19; Proto-oncogene Neu; Proto-oncogene c-ErbB-2; Tyrosine kinase-type cell surface receptor HER2; p185erbB2; CD antigen CD340
遺伝子 ID	2064
SwissProt ID	P04626
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

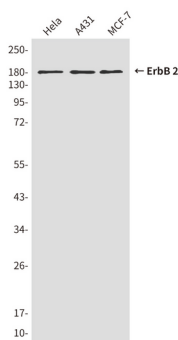
**背景**

この遺伝子は、受容体型チロシンキナーゼである上皮成長因子 (EGF) 受容体ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は独自のリガンド結合ドメインを持たないため、成長因子と結合することはできません。しかし、リガンド結合型 EGF 受容体ファミリーの他のメンバーと強固に結合してヘテロ二量体を形成し、リガンド結合を安定化させ、マイトジェン活性化プロテインキナーゼやホスファチジルイノシトール3キナーゼなどの下流シグナル伝達経路のキナーゼによる活性化を促進します。

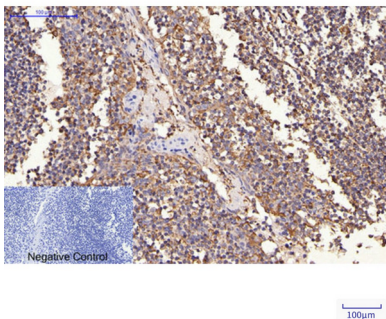
## 研究分野

癌

## 画像データ



ErbB 2 (1C4) 抗体を使用した、Hela、A431、MCF-7 溶解物中の ErbB 2 (1C4) のウエスタンブロット分析。



HER2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。ネガティブコントロールは二次抗体を使用しました。